

1 市の概要

人口	83,254	人
保護率	0.6	%

2 支援状況調査 (H30年度)

新規相談受付件数人口10万人当たり (件) 一月当たり	15.3
プラン作成件数人口10万人当たり (件) 一月当たり	4.5
就労支援対象者数人口10万人当たり (件) 一月当たり	0.3
就労・増収率 (%)	33.3

3 実施方法について

実施方法	委託 (単年度随意契約)
事業費	2,300千円 (平成30年度)
理由 (委託)	○市社協独自で「日常生活自立支援事業」を実施しているの で、それを活用しながら、家計改善支援事業に対応できるの ではないかと考えたため。
事業概要	○主任相談支援員1名、相談支援員2名、就労支援員1名、 計4名を配置。家計改善支援事業については、全員が兼務で 対応。 ○家計支援については、まずは収支状況を確認。必要に応じ て、債務整理の支援、成年後見制度の利用支援なども実施。 ○依存症がきっかけで困窮しているケースも多く、家族会と 連携して相談会を開催し、潜在ケースへの啓発を実施。

4 事業実績 (H30年度)

利用者数	家計の改善	債務整理実施	税・料の滞納状況の改善	支援終了
79人	16人	5人	14人	5人

5 事業実施のポイント ～本人の負担感を軽減する工夫～

- 収支計画や日計表、滞納分支払い計画表などは、ご本人がわかりやすいように、独自のシートを作成して、活用している。
- 具体的な生活費の使い方について、封筒わけの仕方を工夫したり、楽しみのもてる貯金方法を提案したり、あまりストレスにならないようなお手伝いを心がけている。
- 市の納税課、上下水道局、携帯ショップ、金融機関等、支払いに関係する窓口にて、家計相談のカードを置かせてもらっていて、窓口の方から相談がくることもある。

このようなカードを、様々な窓口におかせてもらっています。

6 取り組んで良かったこと

- 「社協さんが、金銭管理のお手伝いをしてくれるなら、分割払いでもいいですよ」等、コツコツ実績を積んできたことで、協力体制を築ける関係機関が増えたこと。
- 滞納していた支払いを完済し、生活費の使い方のペースが身についた上に貯金もできるようになって、この事業を卒業できる場面に立ち会えると、取り組んで良かったなあと思います。